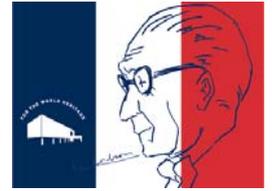


国立西洋美術館を世界遺産に！！

「ル・コルビュジエの建築と都市計画」

The Architectural and Urban Work of Le Corbusier



【発行】2010(平成22年)年10月 台東区世界遺産登録推進室 TEL03-5246-1111 <http://www.city.taito.tokyo.jp/sekaisan/>

ル・コルビュジエの来日 ～最初で最後の日本滞在中～

1955(昭和30)年11月2日、フランス人建築家ル・コルビュジエが国立西洋美術館の設計者として来日しました。コルビュジエの訪日は、外務省の招聘に応じたものであり、マスコミにも大きく取り上げられました。

当時、コルビュジエは、フランス国内だけでなく、インド・チャンドイガルでも大きなプロジェクトを手がけていました。毎年秋のインド渡航に合わせて、急ぎよ訪日予定を組み、実現したものでした。

コルビュジエの日本滞在中は、延べ168時間40分！

偉大な建築家コルビュジエは、日本滞在中、何を見聞し、そして何を考えたのでしょうか？

コルビュジエが見た日本



<視点1>国立西洋美術館の建設予定地を丹念に視察

滞在中、コルビュジエは計5回、建設予定地である上野公園内凌雲院跡地(写真①参照)に足を運んでいます。コルビュジエは周辺の建物や道路の状況等、その立地環境について、同行した3人の弟子(前川國男、坂倉準三、吉阪隆正)や関係者に数々の質問を投げかけました。その内容を携帯した手帳やカネ尺、スケッチブックを用いてメモやスケッチを残していました。

<視点2>京都・奈良を訪問 ～悠久の都で日本建築を体感～

京都

桂離宮や修学院離宮を見学しました。コルビュジエはあまり建物に関心を示さなかったようです。彼が興味を示したのは、桂離宮にある卍亭の四ツ腰掛の配置であり、その見取図をスケッチブックに残しています。この卍型のアイデアは、国立西洋美術館の自然光を取り入れる4つの天窗の配置に活かされたと言われています。(写真③参照)

奈良

東大寺や法隆寺などを見学しました。東大寺では、中門の大きな扉の開閉方法や軸の収納部分に興味をもち、スケッチに残しています。また、同行した吉阪の目撃証言によると、コルビュジエは、大仏殿(写真②参照)の柱と梁の結合部の構造や正倉院の建物を支える檜の木肌の美しさに感動していたとされています。

東大寺大仏殿での見聞は、国立西洋美術館の19世紀ホール天井部分に見られる三角形のトップライト(写真③参照)の造形や吹き抜けを支える柱と梁の構造などに応用されたと言われています。

<視点3>弟子たちの作品を見学

11月8日、東京へ戻ったコルビュジエは、坂倉が設計した鎌倉の神奈川県立近代美術館(1951年竣工)と新宿区にある吉阪の自邸(1955年竣工)を見学しました。当初の行程には入っていませんでしたが、弟子たちは、自らの建築作品をぜひ見てもらいたかったのでしょうか。

滞在スケジュール

<11月>

- 2日 初来日、3人の弟子と再会
- 3日 建設予定地視察①
歌舞伎見学
- 4日 建設予定地視察②
前川事務所訪問
- 5日 関西へ移動
塩野孝太郎邸見学
- 6日 桂離宮・修学院離宮等見学
- 7日 法隆寺・東大寺等見学
- 8日 東京へ移動
神奈川県立近代美術館、
吉阪邸見学
建設予定地視察③
- 9日 建設予定地視察④、⑤
晩餐会後、離日
(インドへ向かう)



①上野公園凌雲院跡地 ©国立西洋美術館



②奈良：東大寺大仏殿

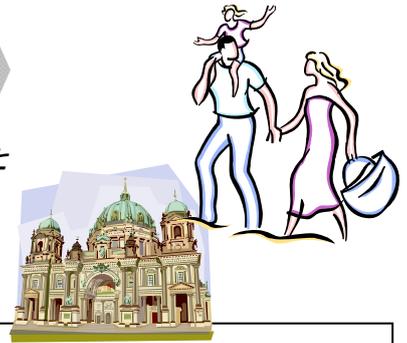


③卍型に配した天窗や三角屋根 ©国立西洋美術館

新連載！

上野の森の建築遺産①

上野の森及びその周辺には、江戸・明治・大正・昭和に建設された歴史的な建築遺産が数多くあります。
建築遺産等をめぐる“まち歩き”に出かけてみませんか？



東京文化会館 Tokyo Bunka Kaikan

東京文化会館は、東京都の開都 500 年記念事業の一環として、1961(昭和 36)年に竣工・開館した日本で最初の本格的なコンサートホールです。年間を通じて、オペラ、バレエ、オーケストラなどの公演が行われるこの建物は、来年(2011 年)、開館 50 周年を迎えます。

建物の設計は、ル・コルビュジエに師事した前川國男が担当しました。設計に際して、前川は真向かいに位置する国立西洋美術館(ル・コルビュジエが設計)との一体性や調和に配慮したデザインに心がけました。それは、建物の軒高を国立西洋美術館に揃えたこと、会館ホワイエ(※1)のスチール・サッシの割付を国立西洋美術館前庭の目地割りに合わせたことです。また、外壁は、国立西洋美術館に合わせて、大理石の碎石を埋め込んだプレキャストコンクリート(※2)が用いられています。

建物の外観は、巨大なコンクリートの庇が全体を覆っており、ダイナミックな構造となっています。軒下は、打ち放しコンクリートの柱で支えられており、ピロティのような吹き抜けの空間を創り出しています。

東京文化会館は、前川國男設計による代表的なモダニズム建築として高く評価されています。



東京文化会館

1961(昭和 36)年 日本建築学会賞作品賞を受賞

(※1) 劇場やホテルなどのロビー、広間、休憩室

(※2) 型枠にコンクリートを流し込んで造られるコンクリートの部材や部品のこと

世界遺産ミニ情報



かっぱ橋で世界遺産を PR !

【情報その1】

11月6日、日本政府は世界文化遺産の候補として「百舌鳥・古市古墳群」(大阪府)と「金を中心とする佐渡鉱山の遺跡群」(新潟県)の2件を日本の世界遺産暫定リストに新規掲載することを決定しました。これにより、日本の文化遺産候補は計13件となりました。

【情報その2】

日本政府は、文化遺産として「平泉—仏国土を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」(岩手県)、自然遺産として「小笠原諸島」(東京都)の2件をユネスコに推薦しています。いずれも審査機関(ICOMOS、IUCN)による現地調査が済み、来年6月の第35回世界遺産委員会(バーレーン)で審議され、登録の可否が決定されます。

10月11日(月)、「かっぱ橋道具まつり」のパレードに参加し、国立西洋美術館の世界遺産登録実現に向けたPR活動を行いました。当日、大勢の来訪者で賑わうかっぱ橋道具街を横断幕・幟旗を掲げて歩き、沿道の方々にご理解、ご支援をお願いしました。



(パレードの様子)

お知らせ

西美で「アルブレヒト・デューラー版画・素描」展が開催されます。

アルブレヒト・デューラーは、ルネサンス期を代表するドイツ人画家です。今回の展示会では、オーストラリア・メルボルン国立ヴィクトリア美術館の所蔵作品を中心に、デューラーの版画・素描が一堂に展示されます。ぜひ、この機会にデューラーの版画芸術をご鑑賞ください。

☆開催期間 平成 22 年 10 月 26 日 (火) ~ 平成 23 年 1 月 16 日 (日) ※月曜日休館

☆開館時間 9 時 30 分 ~ 17 時 30 分 (毎週金曜日は 20 時まで)

詳しくは、HP 参照 国立西洋美術館 HP <http://www.nmwa.go.jp/>

